

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-1622

年度	令和3年度		
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名(準部・課・機関名)	新潟市美術館
組織の目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上に寄与します。		

作成日	R3.4.19
修正日	
評価日	R4.4.26

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標			R3結果	補足・参考指標
1		展覧会やイベントの充実、ショップ設置などで魅力を高め、利用者を増やし、来館者満足度の向上を目指します。	・企画展、コレクション展、各種講座などの開催 ・ミュージアムショップ・カフェとの連携	・入館者数(人)	61,213	59,273	57,787	57,000	56,686	・入館者数はエントランスのカウンタ数 ・開館日数 H29 261日間 H30 262日間 R1 260日間 R2 250日間 R3 230日間	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、目標に達することができませんでした。	未達成
			・来館者アンケート(企画展・コレクション展)	・アンケート満足度(点)	4.39	4.36	4.46	4.4	4.67	・来館者アンケート平均点(5点満点) R3 過去3か年平均	無言館展の4.77を筆頭に、3企画展で目標値を大幅に上回る評価をいただきました。	達成
2		学校や地域等と連携し、子どもたちが美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	・「アートリップ」や子どもスタンプカードの実施 ・美術講座、実技講座等の開催	・学校連携事業や教育普及事業等の実施回数(回)	78	60	55	55	37		アートリップは5校で実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、学校連携事業や各種講座が中止・延期となり、目標達成が困難となりました。	未達成
3		新規来館者数を増やし、リピーターを獲得するための仕組みづくりや、運営の工夫で収益の向上を目指します。	・西大畑旭町文化施設協議会との連携 ・SNSなどの活用	・企画展1日あたりの有料観覧者数(人)	126	114	84	90	111.5	・企画展本数(日数 有料者数) H29 5本(241日間 30,433人) H30 4本(208日間 26,209人) R1 4本(238日間 27,167人) R2 5本(234日間 19,723人) R3 4本(185日間 20,635人)	前期の無言館展、るろうに剣心展は目標を大幅に超えることができ、後期は伸び悩みましたが、一年を通して平均で100人を超える有料観覧者数となりました。	達成
4		職員等に職場研修を行うとともに、館外研修に職員等を積極的に派遣し、資質向上を図ります。	・コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修など ・財務・文書管理・IT研修など ・専門研修への派遣(学芸員)	・研修受講者数(延)	58	49	23	23	25	・職員や看視員等対象の研修受講者数(避難誘導訓練除く)	一部でWEB研修や、中止となった研修もありましたが、コロナ対策を徹底しながら受講を進め、目標を達成することができました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>新潟市美術館の運営方針に沿った取り組みを展開します。</p> <p>「運営方針」</p> <p>政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 あるもの(館蔵品を含む地域の多様な文化資源・自然環境)を活かし、新たな知を掘り起こす「発見する美術館」 2 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が「学べる美術館」 3 さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る「生きている美術館」 4 市民同士、地域の文化施設相互が「つながる美術館」 5 高い質を保ち、市民が誇れる「信頼の美術館」 	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、休館は短期間でしたが、入館者数は昨年度に比べ減少し、関連事業や学校連携事業なども縮小せざるを得ませんでした。</p> <p>企画展については、上半期は比較的観覧者数も順調に推移しましたが、下半期になると「特別警報」や「まん延防止等重点措置」などのコロナ対策強化に加えて、雪や寒さの影響もあり、観覧者数が伸び悩みました。</p> <p>一方で、2年ぶりに市附属機関である美術館協議会や美術資料選定選定委員会を開催し、館の運営や資料収集について諮ることができました。</p> <p>また、来館者の方からは、「非常に良かった」「感動」「感激」「涙がでました」「新潟で見ることができ感謝」などの感想とともに、高評価をいただいております。こういう時期だからこそ、人々にとってより芸術・美術が必要とされていると思われれます。</p> <p>コロナ対策を徹底しながら、工夫して幅広い種類の展覧会(企画展・コレクション展)を提供するとともに、引き続き調査研究や教育普及にも力を入れていきます。</p>